

低学年軟式野球交流大会 競技運営上の細則

取り決め事項

- 1 1単位団1チームとする。**（但し、本年度は市町村で混成チームを編成してもよいが、混成チームを編成する場合は、双方の団に2年生以下の登録団員がそれぞれ1人以上いること。）**
 - 2 選手は、県スポーツ少年団に登録済の者とする。
 - 3 チーム編成は、1年生から3年生までの男女学童とする。
未就学児の登録は、安全確保が困難な為に不可とする。
 - 4 野球を楽しませる組織にすること。
- 1 試合ボールは、軟式D号ボールを使用する。
 - 2 試合回数は、5回とするが5回に満たなくても45分を経過したときは、新しいイニングに入らず、後攻のチームがリードしていても裏の攻撃をしてから試合を終了させる。
延長戦は行わない。同点は抽選とする。なお、決勝戦は時間制限はない。5回終了時、同点の場合は7回まで延長戦を行い、それでも同点の場合は特別ルールのタイブレークで決定する。
 - 3 相手チームが棄権した場合は、5対0で勝ちとする。
 - 4 服装は、特定しないが運動の出来るものを着用し、必ず着帽すること。
 - 5 靴は、運動靴とする。
 - 6 ヘルメット着用は、打者と走者で最低4つ用意する。
 - 7 捕手（キャッチャー）は、マスクとキャッチャーヘルメットを着用する。**また、その他の防具を着ける事が望ましい。（例：レガース、プロテクター、ファウルカップ等）**
 - 8 ビヨンドバット等の複合バットの使用は禁止する。（通常のアルミバットが望ましい）
 - 9 盗塁は、認めない。なお、ランナーは、打者が打ったとき以外は離塁できない。
 - 10 投げる人は、味方チームの大人（お母さんが望ましい）が下手から投げてやること。
 - 11 フェア・グラウンドの飛球（フライ）について
 - ・内野手が処理した場合は、捕球アウト、落球はセーフとする。
 - ・外野手が処理した場合は、捕球またはグラブに触れて落球してもアウトとする。
 - 12 ファウル・グラウンドの飛球（フライ）は、捕球アウト、落球はファウルとする。
 - 13 競技場は、各塁間21m、投手よりホームプレート間8.5mとする。
 - 14 ベースは移動とする。
 - 15 投手（ピッチャー）の守備位置は、ホームから2塁ベース線上の14m地点を中心に直径2.5mの円形を描いた範囲内とする。
 - 16 一塁、二塁、三塁、本塁は、捕球または、グラブに触れて落球してもアウトとする。ただし、二塁、三塁、本塁でホースプレー以外は、タッチプレーとする。その場合、落球してもアウトとする。
 - 17 打者は、2ストライクまでは、カウントを取るが、その後空振り以外は三振を取らない。
なお、四球はない。
 - 18 審判は、両チームから2名ずつとする。
 - 19 各チームは、必ず責任者と監督をおくこと。
 - 20 打球が、**投手**（大人）に当たった場合は、ボールデットでノーカウントとする。
 - 21 バンド（スクイズも含む）は**禁止**とする。
 - 22 ランナーコーチは大人とする。
 - 23 **タッチアップは採用しないが**、離塁をしていてボールが元の塁にかえた場合はホースアウト。
但し、捕球しないで、ボールがグローブに触れてアウトの場合はボールデットとする。
 - 24 外野ゾーンは50m曲線とする。
 - 25 ベンチの指示は監督、コーチ、のみとする。親は応援のみとする。